

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「実践的食育」

<テーマの設定理由>（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園近隣に大きな公園があることや地域の方とのかかわりが深く、毎年ブルーベリー摘みやじゃがいも掘りなど食に触れる体験を多く取り入れている。園でも乳児クラスから野菜の栽培を積極的に行っている。また、栄養士と保育士、職員間の結びつきが強いため食育活動にも力を入れている。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
実施日		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	地域	地域
①	10月30日	0	0	0	0	9	8	0	0
②	10月31日	0	0	0	0	10	8	0	0
③									
④									
⑤									

活動内容	
Jクレスト（いどう果樹園）さんに来ていただき、3階屋上にてお米の収穫・脱穀体験を行った。	
初めてお米についての簡単なクイズをした。お米を虫から守る動物がいる話やお米の花は何色か、案山子の役割についてなど学んでいった。	
脱穀体験では、準備されていた稲穂からもみ殻を取り、すりばちとボールでもみ殻を落とし、息でそのもみ殻を吹き飛ばすという流れを、子どもたちが納得するまで行わせてもらった。	
最後に精米してあるお米をいただき、翌日子どもたちと米研ぎ体験の時に使用、なぜ研ぐのかを考え、緊張した面持ちで研いでいた。お釜の表示に興味を示していた子どもたちだった。給食室炊飯器で炊き、給食時に食した。	

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した 素材や道具)
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。
- (活動の内容、 活動中見られた 子 ども の姿、 教諭 との関わり 等)

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	☐
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	☐
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	☐
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	☐
幼稚園・保育所等の各施設の教諭教健・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	☐
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	☐

活動の様子が分かる写真2枚以上を貼付してください。
 (HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



3. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞
普段、自分たちが何気なく食べている「白いご飯」がどのような植物で、どのように収穫され、加工されているかをわかりやすく知ることが出来て非常に学びになる活動だったと思う。 脱穀という慣れない作業も、子どもたちが見慣れ・触れ慣れている牛乳パックを使うことで安心感や関心を持って子どもたちが取り組めていた。難易度も「最初は大人の援助が必要だが、慣れてくれば一人でも出来る」という、ちょうどよいものだった。だからそ子どもも立ちが長い時間やり込めていたのだと思う。作業時間も、子どもが納得して気が済むまで目いっぱい行わせて頂けて、子どもたちの達成感あふれる表情を見ることが出来た。今後、他の活動を行う際の、難易度や設定時間を決める参考になった。また、普段の給食時に白米を食べない子や残す子が多いが、お米について学び、自分たちで研いだご飯は普段よりも進んでよく食べていた。

4. 今月の購入実績

[illegible]

記入日： 2025.10.31

記入者： 齋藤ふたば 菊地直未